

東大教授が語り合う10の未来予測

「未来予測」というタイトルから、それぞれの先生が専門化した狭い範囲の難しい説明の羅列ではないか？ 理解できないことをそれぞれお互いに関係なく書かれているのではないか？ という不安があるかもしれません。しかしこの本は、私のよく知っている東大の教授たちが書いたもので、その不安はすぐに払拭されます。AI、超長寿、自動運転、宇宙…いろいろなトピックスを、まさに「縦横無尽」に喋ります。「縦横無尽」というのは、いろいろな話題をいろいろな角度から、深かったり、浅かったり、とても楽しいです。分野のダイバーシティだけではありません。中身を書くとネタバレになってしまいますが、この立派な東大の先生たちは、実は子どもの頃マンガが好きで、そのマンガの未来の中で、今実現していることを、ちょっと科学的に説明してくれています。（本当はマンガの未来に憧れて東大教授になったのでは？ と疑っています。）

ほかにも「人類、さらに宇宙はわからないことだらけ。」「人類と昆虫に未来を託されている。」「『遺伝子』だけが大切で、エントロピーの拡大が全てのカギ。」「便を移植されると性格が変わる。」・・・など、この言葉だけでもちょっと知りたくなるし、読んでみたい気持ちになります。

本当は本の文字だけではなくて、先生たちにお互いに直接喋ってもらいたい気持ちです。この本の更にいいところは司会役をやっている瀧口友里奈さんの話術かと思います。東大の難しい学者の話から、ジュニア会員の皆さんにも「おもしろい」を与えてくれる、とても素晴らしい本です。

（慶應義塾大学 山中直明）